

2023年1月10日

株式会社毎日放送

各位

安倍元総理『銃撃の記憶』

当時の“事件現場を記録”し、

警備態勢などを“映像で検証する”特設WEBサイトを公開しました

毎日放送(MBS)は、2022年7月8日に奈良市で起きた「安倍晋三元総理大臣銃撃」事件に関する特設WEBサイトを2023年1月10日からMBSニュースの公式ホームページ内(PCサイトとスマートフォンサイト)で公開し、情報発信を行います。

意図と目的

——午前11時32分 消防に一報「高齢男性 拳銃で撃たれ心肺停止状態」。撃たれたのは、遊説中の安倍晋三元総理、参院選投開票の2日前でした。男はどのようにして数メートル後方まで接近でき、「問題があった」とされた警備の空白とは、どういう環境だったのでしょうか。総理経験者が、しかも選挙の応援演説中に銃撃されるという重大事案を、多角的に検証し、映像として残すことは、報道機関としての重要な使命と考えました。既にテレビで放送していますが、さらに多くのメディアで発信し、アクセスを可能とすることも重要であるとの認識に立ち、特設サイトを公開しました。

【目的①】 警備態勢など当時の状況を検証

警察庁は「警護についての検証及び見直しに関する報告書」を公開し、時間帯ごとの詳細な人物の位置を画面などでまとめました。報告書を基に、当時の現場映像と取材を合わせて、発砲前後の現場状況を緻密に再現した“映像で検証”しました。

【目的②】 変化する事件現場を記録

事件現場は「大和西大寺北口駅前広場」整備事業の対象地であり、奈良市が慰霊碑などを設置せず予定通り整備することを決定しました。すでにガードレールは撤去、2023年3月には車道になります。地元報道機関として、様相が変わる“事件現場を記録”しました。

特設サイトの内容

当サイトでは、演説を聞いていた男が【歩道を動き始めてから、元総理への発砲、警察官に確保されるまで】の75秒の動画を、3つの視点(元総理視点、男の視点、俯瞰視点)で作成しました。各動画は時系列で連携されているため、ユーザーは任意に3つの視点を切り替えて閲覧でき、それぞれの向きから事件当時の状況が確認できます。作成にあたっては、360度(全方位)カメラと一人称カメラで現場周辺を改めて撮影し、CGで人物や重要な事象(シーン)を合成しました。



男の視点から見た 11:31:00 ごろ



舞台上の視点から見た 11:31:03 ごろ



シーン 男が歩道を移動



シーン 路上を自転車などが通過



閲覧に当たっての注意

本サイトにはじめてアクセスしたユーザーに対しては、まずサイトの目的と含まれる映像を告知し、同意したユーザーのみ閲覧できるようにしました。この点に際して、インターネット犯罪に詳しく刑法が専門の甲南大学・園田寿名誉教授の監修を受け、告知内容は以下の通りとしました。

当ウェブサイトは、MBS ニュース（毎日放送）が奈良市で起きた元総理大臣銃撃現場を再現しました。将来、現場の環境が変わるため、発生当時の状況を記録する目的と、当時の警備態勢を映像で検証する目的です。警察庁の「警護警備に関する検証」報告書と取材等を基に動画を再現し、内容には現場の実写に加えて、CGで再現した発砲シーンと発砲音が含まれます（音のON・OFFは選択可）。閲覧する際は上記内容が含まれることをご理解し、同意いただく必要があります。

終わりに

政治家の銃撃は、古くから「文字」で、20世紀には「映像」で記録され、広く発信されてきました。現代に、弊社取材エリアで発生した銃撃事件を、映像を扱うテレビ局としてデジタル空間で、どう伝えるべきか検討し『360度視野のカメラも利用した複数の視点で、事件の前後を秒単位で再現する』という表現手法を選択しました。まさに「空間の世紀」とも呼べる時代における、「報道記録」としての取り組みの一つではなかろうかと思えます。

本件問い合わせ先:広報部